

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定) 実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①定時制生徒の多様なニーズに応えるカリキュラムマネジメントを進める。 ②基礎学力の定着と主体的で深い学びを実現するため、ICT機器の利活用を含めた組織的な授業改善に取り組む。	①学びに向かう力の醸成と生徒の基礎学力向上を目指し、指導と評価の一体化を意識し授業を実践する。 ②授業改善を、「わかりやすい授業」をテーマに行い、ユニバーサルデザイン化された授業を念頭に具体化する。	① 指導と評価のサイクルを繰り返し、生徒への効果が最大限となるような指導を実践する。 ②授業環境の整備とICT技術の活用の視点に立ち、本校生徒にとってのわかりやすい授業を具体化する。	①プリントへの書き込みや授業への取り組み方を評価することで、指導へ生かされたか。 ②生徒が意欲的に取り組めるような仕組みを意識して授業を実践したか。生徒が意欲的に授業に取り組んだか。					
2 生徒指導・支援	①他者を尊重し、良好な人間関係を築き、社会で生き抜くために必要な力を身につけられる支援を行う。 ②SC、SSWの活用や外部機関との連携を図り、一人ひとりの生徒に応じた相談体制・支援体制の充実を図る。 ③生徒の主体的・積極的な活動の支援体制を確立する。	① 生徒一人ひとりの抱える問題・課題の解決を全教員で支援しながら人間的成長を後押しする。 ② 多様で複雑な課題を抱える生徒について、情報把握と共有を図るとともに、組織的かつ機動的な支援を行う。 ③学校行事や委員会活動等、生徒の関心・意欲を高め、主体的に運営・参加できる機会を増やす。	①下校指導や自転車点検などの機会を生かし、年次を問わず職員全員で生徒を支援する意識を高める。 ① 課題を抱える生徒に対して、長期的な計画を立て、支援する。 ② 情報共有の機会を適切に設けながら個々に応じた支援に努めると共に、外部機関との連携を躊躇なく行う。 ③ 行事への参加を通じ、他者と協働して作り上げる経験の大切さを伝える。部活動を通して競技の楽しさを味わいながら、自分の可能性を高める努力の大切さを指導する。	①下校指導等に全職員が取組み、生徒と積極的に交流を図ったか。 ① 課題を抱える生徒に対する支援が継続して組織的に行えたか。 ②適切に情報共有ができたか。生徒の課題に対し、組織的に個々に応じた対応ができたか。生徒支援Gとの連携が図れたか。適時、外部機関と連携できたか。 ③アンケート調査による行事、部活動への参加意欲と満足度は高かったか。					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	①生徒の幅広い進路希望やニーズに応じた支援体制の確立を図る。 ②生徒が主体的でたくましく社会を生き抜くことができる力を育成する。	①進路選択に際し、生徒一人ひとりの多様なニーズをよりの確に把握するとともに、組織的に支援できる体制を構築する。 ②生徒の社会的・職業的自立のために必要な能力を育成し、生徒自ら主体的に進路選択ができるように支援する。また、教職員の支援スキルの向上を図る。	① SCCや外部資源を活用する。新たに毎週開催する「進路相談スペース」および、ガイダンス等における相談機能を強化し、多岐にわたる生徒のニーズに対応していく。 ② 各年次と連携し、生徒との対話型・伴走型の進路支援を継続するとともに、教職員向け研修会を開催し、支援のノウハウを継承・発展していく。	① SCCをはじめとする外部資源を効果的に活用することができたか。「進路相談スペース」の生徒および教職員の利用状況は活発であったか。 ②各年次との連携がはかれていたか。支援事例や支援のノウハウについて、蓄積・共有が図れたか。					
4 地域等との協働	①学校の情報発信を積極的に行い、地域との連携を深める。 ②ボランティア活動等への参加を通して、地域との連携を深める。	①ホームページなどを活用し、積極的に情報発信を行うとともに、地域や保護者と連携・協働した活動を充実させる。 ②ボランティアの意味を理解し、自発的な意思に基づき、社会に貢献する活動を後押しする。	①HP やまち comi 等で学校の様子を積極的に発信し、開かれた学校として地域との連携をさらに深めるとともに、保護者の来校機会を増やす。 ② ガイダンスを通して、見返りを求めない善意による行為として価値があることを指導する。	①HP やまち comi などを活用し、学校の様子を発信することができたか。保護者の来校機会を増やすことができたか。 ②生徒の主体的な取組を促す仕組みを構築できたか。ボランティアの意味と意義を理解し、活動できたか。					
5 学校管理 学校運営	①生徒を第一に考え、指導方針を共有し、生徒・保護者のニーズに応える学校づくりを行う。 ②一人で業務や悩みを抱え込むことなく、健康で明るい職場環境を構築する。	①生徒・保護者、地域等から広く意見聴取等を行い、全職員で共有し、常に改善を図る ②適切な職務管理を行うとともに、職員一人ひとりが共有、協働の意識を心がけ、風通しの良い職場環境を作る。	① 生徒による授業評価や学校運営協議会等の意見を活用し、改善を図る。学校の運営方針を全職員で共有する。 ②事故不祥事等の事例を周知するなど職員のコンプライアンスの意識の醸成を行う。	①授業改善やコミュニティ・スクールなどの意見を取り上げる場をもてたか。運営方針を共有するための研修会等を開催できたか。 ②職務管理ができたか。職員一人ひとりが協働の意識を高める環境を構築できたか。					